

新旧対照表

改正後

改正前

先物取引に係る雑所得等の金額の計算明細書

(この明細書は、先物取引に係る事業所得や雑所得について確定申告する場合に使用します。なお、いずれの所得もあつたときは、所得の区分ごとにこの明細書を作成します。)

(記載例については、裏面)を参照してください。

商品先物取引に係る雑所得等の金額の計算明細書

(この明細書は、商品先物取引に係る事業所得や雑所得について確定申告する場合に使用します。なお、いずれの所得もあつたときは、所得の区分ごとにこの明細書を作成します。)

(記載例については、裏面)を参照してください。

いずれか当てはまるものを○で囲んでください。 → 事業所得用
雑所得用

(平成 年分) 氏名

取 引 の 内 容	種 類	㉔	㉕	㉖	合 計 (㉔から㉖までの計)
		枚	枚	枚	
決 済 の 日 付					
決 済 の 方 法					
総 取 入 金 額		円	円	円	円
差 金 等 決 済 に 係 る 利 益 又 は 損 失 の 額	①				
そ の 他 の 取 入	②				
計 (①+②)	③				
必 要 の 経 費					
差 金 等 決 済 に 係 る 委 託 手 数 料	④				
そ の 他 の 経 費	⑤				
計 (④+⑤)	⑥				
小 計 (③-⑥)	⑦				
所 得 金 額 (⑦-⑧)	⑧				

○この明細書は、申告書と一緒に提出してください。

申告書第三表(分離課税用)は「収入金額」欄の②(申告書第四表(損失申告用)は「損失額又は所得金額」欄のFの⑩(収入金額)に記載してください。

黒字の場合は、申告書第三表(分離課税用)の「所得金額」欄の②(申告書第四表(損失申告用)は「損失額又は所得金額」欄のFの⑩)にそのまま転記し、赤字の場合は、申告書第三表(分離課税用)の「所得金額」欄の②(申告書第四表(損失申告用)は「損失額又は所得金額」欄のFの⑩)に「0」と書いてください。

※ ①、③及び⑥欄は金額が赤字(損失)のときは、赤字(△印)してください。
 ※ ④から⑧の各欄は、差金等決済ごとに記載してください。
 ※ ⑦欄は、商品先物取引及び商品名について、例えば、東穀米国大豆、東京金、大阪ゴム指数、東穀租糖OPcのように書いてください。

いずれか当てはまるものを○で囲んでください。 → 事業所得用
雑所得用

(平成 年分) 氏名

取 引 の 内 容	種 類	㉔	㉕	㉖	合 計 (㉔から㉖までの計)
		枚	枚	枚	
決 済 の 日 付					
決 済 の 方 法					
総 取 入 金 額		円	円	円	円
差 金 等 決 済 に 係 る 利 益 又 は 損 失 の 額	①				
そ の 他 の 取 入	②				
計 (①+②)	③				
必 要 の 経 費					
差 金 等 決 済 に 係 る 委 託 手 数 料	④				
そ の 他 の 経 費	⑤				
計 (④+⑤)	⑥				
小 計 (③-⑥)	⑦				
所 得 金 額 (⑦-⑧)	⑧				

○この明細書は、申告書と一緒に提出してください。

申告書第三表(分離課税用)は「収入金額」欄の②(申告書第四表(損失申告用)は「損失額又は所得金額」欄のFの⑩(収入金額)に記載してください。

黒字の場合は、申告書第三表(分離課税用)の「所得金額」欄の②(申告書第四表(損失申告用)は「損失額又は所得金額」欄のFの⑩)にそのまま転記し、赤字の場合は、申告書第三表(分離課税用)の「所得金額」欄の②(申告書第四表(損失申告用)は「損失額又は所得金額」欄のFの⑩)に「0」と書いてください。

※ ①、③及び⑥欄は金額が赤字(損失)のときは、赤字(△印)してください。
 ※ ④から⑧の各欄は、差金等決済ごとに記載してください。
 ※ 「種類」欄には、商品先物取引及び商品名について、例えば、東穀米国大豆、東京金、大阪ゴム指数、東穀租糖OPcのように書いてください。